

地域も保護者もさらにつながり、次の一歩へ

～令和3年度 湖東コミュニティスクールの紹介～

湖東小学校

1 これまでの活動

湖東小学校は、地域の方々が協力してくださる諸団体がもともと存在しており、コミュニティスクールの母体となっています。地域の方を講師に3年生以上のクラブ活動“わくわく講座”、登下校を見守る“防犯ボランティア”、読み聞かせ“湖東たまたまばこ”、野菜作りや伝統食材の伝達“サンサン会”等、様々な方々に学校を支えていただいています。

「子どもたちが輝き、地域に根を下ろした湖東教育の創造～ふるさと湖東を愛し、次世代を担う子どもの育成」を指導目標に、コミュニティスクールの方々の支援のもと、地域を知り、地域に人々の心に触れ、地域から学ぶ活動を行ってきました。また、「学校を地域の方の場に、地域を子どもの学びの場に」と、地域とのつながりを大切にしたい学校づくりを目指しています。

①わくわく講座（縄文体験・郷土料理・生け花・紙芝居・樹音・俳句朗詠など全11講座）



②湖東たまたまばこ（読み聞かせ）



③サンサン会による地域食材凍み大根づくり



④生活科・総合・ものづくり等の授業支援



⑤地域の方の立ち寄り場所「ふれあい広場」



2 本年度の新たな取り組み

(1) 湖東 CS だより

地域や保護者の方々に湖東 CS を知っていただくことにつながっています。家庭教育支援部会や防犯ボランティア等具体的な活動や関わる方の思いも届けていただいています。(別紙) また、

(2) 地域のなんでもお助け隊」(家庭教育支援部会)

保護者の声を届けていただくために「YOU SAY ポスト」を設置し、子育ての不安や聞いてみたいことを投函してもらうことになりました。返答は、地域の様々な立場の方に答えていただき、「お返事号」が発行されています。子どもからの投函もあったことから、子ども用とそのお返事号にも拡大しました。(別紙：)

今後、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いたら、投函されたテーマごとに「ちょこっとお話し会」等行う計画でいます。

(3) LINE グループ (昨年度より)

湖東の方々の輪を広げ、CS の活動の共有、地域の人材や協力者の掘り起こし、PTA 会員の参入等に取り組んでいます。

(4) 子どもたちの願いを 地域の方の力で学びに (コロナ禍でもこれまで以上に)



社会の農業の学習で、湖東地域は花作りが盛んだったことを知り、見学を望んだ。CS の方に菊農家を紹介していただき、仕事への姿勢を学ぶ。



笹原地区に存在するこて絵を地域の方の案内で回り、こて絵の歴史を学ぶことで地域の素晴らしさを実感。天香館見学や自分たちの制作も行う。



御射鹿池は水を温めてから下流で活用するため池であること、樋で用水を越える技術等、実際に見て湖東の用水についてCSの方に学ぶ。



育てた大豆で豆腐作りをしたいと願った2年生。地域の小林豆腐店(千年豆腐)の見学をし、来校していただいて豆腐作りを行う。